

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目「危険ドラッグを中心とした中枢神経系に作用する物質の迅速検出法の開発に関する研究」

機関名：国立精神・神経医療研究センター

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等の名）	発表した時期	国内・外の別
麻薬 α -PVP 誘導体等の測定結果及びその生体影響試験（口頭）	鈴木仁, 小縣昭夫, 不破達, 藤谷知子, 牛山慶子, 中嶋順一, 田中豊人, 小野恭司, 久保喜一, 吉田正雄, 市川瑤子, 高橋美佐子, 植村望美, 清水聖子, 長嶋眞知子, 清水雅子, 猪又明子, 守安貴子, 中江大	日本薬学会 第 135 年会. 神戸	3 月 28 日. 2015.	国内
愛知県における危険ドラッグ製品の検査状況について（口頭）	安藤麗香, 大野春香, 棚橋高志, 上野英二, 猪飼誉友, 皆川洋子	日本薬学会 第 135 年会. 神戸	3 月 28 日. 2015.	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Identification of N,N-bis(1-pentylindol-3-ylcarboxy)naphtylamine (BIPICANA) found in an herbal blend product in the Tokyo metropolitan area and its cannabimimetic effects evaluated by in vitro $[35S]$ GTP γ S binding assays.	Nakajima J., Takahashi M., Uemura N., Seto T., Fukaya H., Suzuki J., Yoshida M., Kusano M., Nakayama H., Zaitu K., Ishi A., Moriyasu T., Nakae D.	Forensic Toxicol. 33: 84-92.	84-92. 2015.	海外

平成 26 年度厚生労働科学研究委託費
(医薬品等規制調和・評価研究事業)
(H26-医薬 B-一般-031)

危険ドラッグを中心とした中枢神経系に作用
する物質の迅速検出法の開発に関する研究

委託業務成果報告書

業務主任者：船田正彦

(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)
平成 27 年 (2015 年) 3 月 31 日発行

